

LNBF(SPL-2920)取り扱い説明書

この LNBF は偏波電圧切り替え型 C バンド LNB とフィードホンが一体となっています。

偏波切り替え

偏波角の切り替えは、13V(14V)/18V の電圧切り替え方式です。13V(14V)で垂直偏波、18V で水平偏波になります。円偏波を受信する場合は、付属の誘電体板は溝に入れてねじロックなどで簡単にとめてください。垂直偏波 13V(14V)で使用すると右旋回偏波、水平偏波 18V とすると左旋回偏波になります。

F/D の調整

フィードホン部を、使用するアンテナの F/D にあわせて調整してください。Fig1 のようにスケーラーリングの後端を F/D 値にあわせて六角ボルトで固定します。

取り付け角度

LNBF の取り付け角度は Fig2 を参照ください。

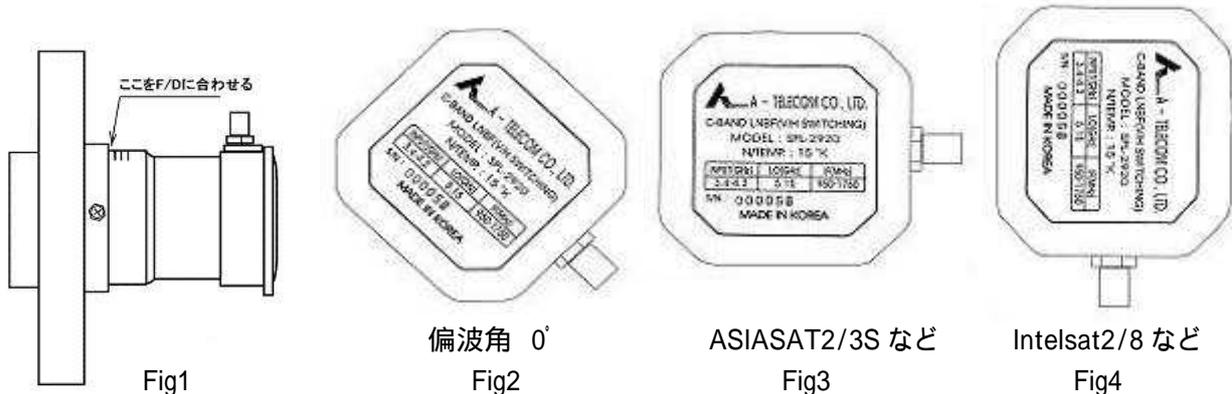
LNBF から反射鏡に向かってみて Fig2 の偏波角 0° の角度に取り付けてください。

ただし目的の衛星が東西に偏っている場合は、見かけの偏波角がずれるので、左右に回して見かけの偏波角と LNBF の偏波軸とを合わせる必要があります。

ASIASAT2/3S, THAICOM など、西に偏った衛星は、反時計方向に 45 度ほど回します。(Fig3 参照) 逆に Intelsat2/8 のように東に偏った衛星は、時計方向に 45 度ほど回します。(Fig4 参照)ポラーマウント式アンテナの場合はこの必要はありません。

受信状態を見て、最も良いところに微調整してください。この角度は衛星によってまちまちです。

同軸ケーブルの接続は、スパナを使用しないで、手で締めてください。



Noise Temperature (@ +25)	15'K	Vertical (13.5V DC typ.)	12.0 to 14.5V DC
Input VSWR	2.5 : 1 typ.	Horizontal (18.0V DC typ.)	15.5 to 24.0V DC
Image rejection	40 dB min.	Power supply	+12 to +24V DC
Conversion gain	65 dB typ.	Required current	150 mA max.
Output VSWR	2 : 1 typ.	Operating temperature	-30 to +60
Gain flatness	6 dBp-p max.	Storage temperature	-40 to +80
Gain ripple (@ per channel)	+/- 0.75 dB max.	Relative humidity	0% to 95% RH
Output impedance	75 ohms	Input waveguide flange	WR- 229
Phase noise (@10KHz)	-80 dBc/Hz	IF output connector	F-Type female
(@100KHz)	-95 dBc/Hz	Weight	372 g
(@1MHz)	-110 dBc/Hz		

<http://www.kontec.com>
<http://www.kontec.tv>

輸入・発売元 **コンテック**

430-0925 浜松市中区寺島町 324
 TEL 053-458-7068